

2021 年度

《小規模多機能型居宅介護 サービス評価》

さくらまち

事業所自己評価・・・・・・・・・・(事-①⑤⑨)
総括表

令和4年3月31日
小規模多機能型居宅介護 さくらまち

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月 1日 (17:30~18:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	4人	0人	9人

前回の改善計画
チェックを継続し、保管場所を決める。
前回の改善計画に対する取組み結果
チェック表は活用できた。保管場所については、当初決めた場所が職員には周知しやすかったが、職員以外の人も目に付いてしまったので変更した。その結果、場所が定まらず周知するのに時間がかかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	5	3	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	6	0	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	7	1	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	8	0	0	9

できている点
<ul style="list-style-type: none">・個々でサマリーを確認したり、チームLINEで情報が届き、その時必要とされる支援は提供できている。また、家人にも連絡帳・メールでのやり取りで、声が聴けている。・利用当初は互いに不安はあった。管理者・計画作成担当者の報告で援助内容の確認ができ、相手の気持ちに寄り添える声掛けは意識してきた。・サービス内容と並行し、関係作りにも努めた。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">・急な支援変更があった時に朝礼が出来ない時もあった。また、それに代わるミーティングが出来なかったため、職員間で情報の共有ができず見落としがあった。・異動したてで慣れていないせいか、緊張して声掛けが思うようにできなかった。・保管場所が定まっていないことで、確認が遅れ周知するのに時間がかかった。

次回までの具体的な改善計画	(
1 チェック表は継続する	
2 保管場所を階段下の壁に設置する (チェックの様子が黙認できるようにする)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 12 月 1 日 (17:30~18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	1 人	0 人	9 人

前回の改善計画	毎年ステップアップ研修に参加させてもらい勉強をしてるので、報告会の時に“地域資源”について盛り込んで発表してもらおう。
前回の改善計画に対する取組み結果	・発表会を実施してもらい報告を受けることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	4	2	0	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	4	0	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	4	0	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	5	0	0	9

できている点	<ul style="list-style-type: none">・イズムリンクの導入で、主治医・訪問看護などとも情報の共有をすることで、連携が取れた。・ボランティア、周辺のお店、民生委員、近所の方などとの関りが広がっている。・突然の支援変更にも対応している。・チーム LINE にて一日の報告を開始してから、一日の様子が把握でき、職員間の共有も出来ている。
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none">・家族の想いが中心になってしまい、本人の想いと家人に説明するが、分ってもらえなかった。・急な変更があった場合、バイタル帳記入、話し合いなどしているが、その時にいない職員との共有が欠けた時があった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none">・休みの職員には、LINE を活用し、支援の変更や、一日の報告、翌日の予定を画像で毎日送る・送り先は二人の職員で確認する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月1日(17:30~18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	1人	1人	9人

前回の改善計画
対象者が出てきたときには、職員が勉強をしながら話を進めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・他の事業所ではあったが対象の方が見えたので法人で研修会(勉強会)の実施が出来た。 ・他にも利用者さんを守る方法(策)を教えていただいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6	1	2	0	9
②	虐待は行われていない	5	4	0	0	9
③	プライバシーが守られている	0	6	3	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	3	7	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	4	3	0	9

できている点
・移乗・移動時には、スライディングシート、ボードを使用し利用者さんに無理のない介助に心掛けた ・市のPTに依頼をし、指導を都度受けている。 ・事業所のLINE報告の際には、実名は使わず、イニシャル対応をしている。 ・気が付いたときに利用者さんの目の前のバイタル帳を閉じたり、移動している。 ・排泄対応介助の際は声の大きさに注意している。 ・スピーチロックをしてしまうときはあるが、「何々しましたら伺うのでお待ちください」、待っていただく時間を伝えている。

できていない点
・成年後見を必要としている利用者さんがいない。 ・他の利用者さんの事を、周りの方に聞こえてしまう状態で話してしまう時がある。 ・トイレが狭く車椅子使用の方は扉をあけたままでないと対応できず完全な個室環境が作れない。 ・簡易ベッドはサイドレールがなく転落防止のために、車椅子を置いた時があった。 ・バイタル帳やサマリーなどが周知の為にボードに貼られ、ボランティアなどの目に触れてしまう。

次回までの具体的な改善計画
・トイレの入り口にカーテンを設置する ・個人情報の記録は保管ボックスを活用する ・職員会で1か月の会話状況の振り返りをする(相談員・計画作成担当者中心)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 おいなんよ	代表者	佐藤 敏子	法人・ 事業所 の特徴	コロナの影響で日常生活が変わり不安な日々の中、“食べる楽しみ”を大切に考え、四季折々の行事食（五平餅・ぼた餅・甘酒・七草粥・お餅つき、花見弁当等）を利用者さんと一緒に作り、一緒に味わっています。学校帰りや保育園帰りのかわいい声が窓の外から聴こえてきます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 さくらまち	管理者	櫻井 弘子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	6人	人	3人	1人	人	2人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	1初期支援 5多機能性ある柔軟な支援 9拘束・プライバシーについて取り組む	3項目に絞ったことで、日常の業務をしながらも取り組むことが出来、全職員出評価・確認が出来た。	全員で取り組んでいますね。イズムリンクについて説明が聞けた。連携が取れている。	2：「～～したいの実現」 6：連携・協働 7：運営 3項目について取り組む
B. 事業所のしつらえ・環境	襖・障子の張り替えを行い、気持ちよく過ごせる環境にする	襖・障子の張り替えは済んだが、直ぐに汚れてしまった。BCPの関連もあり、事業所内の安全について工夫できた。	外部評価をさくらまちの2階で行ない、事業所の中を見て頂けた。	事業所内をBCP対応するため工夫する。 コロナ対策をしつつ、ボランティアを招く。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ対策をしっかり行いながらボランティアの方の行事や地域との交流を深めていきたい。	コロナ禍の向きなど工夫し、随時換気、1日3回のアルコール消毒の実施をし、子持ちボラ、読み聞かせ等行えた。	掃除に参加してくれて顔見知りにはなったが、飲食の席がないので名前が分らない。	地域の行事・会議には交代で職員が参加する 職員から挨拶をする
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	今後も地域包括支援センターとも連携しながら、地域で困っている人のお手伝いをする。	地域ケア会議に出席した戴いたり、予防の方の情報共有をし、同席して訪問を実施した。	地域包括ともよく連携してくれている。地域資源の発掘、ボランティアも積極的にやって頂いていて良い。	ドライブを行い、四季の変化を楽しむ 地域の商店・公園など利用者さんと一緒に活用する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	さくらまちの一年間の活動動画を作成し見てもらう。	公民館にて、1年間のさくらまちでの様子を動画にして見て頂いた。	スライドショーを見せて頂き、中の様子がわかって良かった。	さくらまちの1年間の活動動画を作成し、運営推進委員会で発表し、様子を見て頂く。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の避難訓練に参加したり、防災計画や備蓄品があることを自治会館に集まる機会に報告する。	コロナ禍で中止になってしまう行事が多かった。防災計画書を運営推進委員に配布した。	日頃の事をしながら、BCP等やらなくてはいけない事が多くて、大変ですね。	地域の防災訓練に参加する 消防署員の指導で消火・避難訓練の実施を行う ジンリキの紹介をする

